

復興支援フォーラムニュース No. 104

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)
=====

<第102回ふくしま復興支援フォーラム>

震災後の学校状況調査から

朝賀 俊彦 (福島大学人間発達文化学類教授)

「大震災後の福島県の教育復興を進める会」では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故後の学校の状況について、県内市町村教育委員会および各小中学校の協力のもと、2011年11月に最初の調査を行ないました。以来、学校や子どもたちの置かれた状況が変化する中で、教育現場における教育復興への課題を探ることを目的として調査を続け、教育復興に向けた課題を示してきました。

今回の報告では、平成27年度に行われた調査の結果に基づく報告書の内容をご紹介します。

○大震災後の福島県の教育復興を進める会について

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後の異常な教育状況からの復興を進めるためには、教育関係者の多大な支援と協力そして連携が不可欠になるとの危機感から、関係団体の賛同を得て、平成23年7月に発足した。福島県、福島県教育委員会に対して教育復興を進める県民一体の体制整備等の陳情を行なったほか、これまでに5回の教育復興シンポジウムを開催している。

<参加団体>

福島県市町村教育委員会連絡協議会、
福島県都市教育長協議会、
福島県町村教育長協議会、
福島県PTA連合会、
福島県小学校長会、
福島県中学校長会、
福島県公立学校退職校長会、
福島大学人間発達文化学類同窓吾峰会、
福島大学、
福島大学人間発達文化学類

(2016. 10. 27)

第101回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

2016年10月27日、1年以上休んでいました「ふくしま復興支援フォーラム」を再開しました。第101回フォーラムでは、林薫平氏（福島大学准教授）から、「原発災害後の福島の生業再生と地産地消のゆくえー沿岸漁業復興と“もやい直し”の可能性ー」をテーマに報告していただきました。

連絡が不十分の中、27名の参加者があり、活発な質疑応答・意見交換がなされました。

以下は、会場で文書提出された、ご意見などです。参考にしてください。

~~~~~

★ 原発事故直後から現在までの福島の漁業の現状と課題がよく分かりました。特にレジユメが簡にして要領よくまとめられていて、理解が深まりました。（K.M）

★ 再開おめでとうございます。（K.F）

★ 放射の汚染物質をいかに処理するか、貯蔵するかが根本と思います。地下水については、汚染水としないことです。地下水と地表水にするような地形を変える必要があると思います。（M.T）

★ ありがとうございます。汚染水を海に流すということは、どう考えたらいいのか？トリチウムをどう考えればいいのか？なんでこんなことを考えなければならないのか？（H.M）

★ 安心だといわれても、放出はいやな感じです。コオナゴ、一時期安かったのは、そういうことだったのかと思いました。海の問題は、今後も教えてほしいです。（H.O）

★ 震災、原発事故の風評と風化と言われて久しい。福島県内で行われている米や農産物の検査、試験操業の現状等、福島県外の人には伝わっていないと思うことも多い。県内の人でさえ知らない人もいます。当然海外には誤解も多く伝わっている。この現状を改善するために、福島の現状を国内外にどう発信するか。（4年後のオリンピックにかかわる）努力をしている人の話を聞いてみたいです。（K.Y）

★ これまでの取組みと現状の問題・課題を知る事ができ、あらためて危機感を持つことができました。危機感を忘れず、希望をもてるよう、水産業の復興を夢んでいます。（Y.M）

★ 再開（次のステップに進む）のは、大きいエネルギーが必要ですが、一步踏みだし、ご苦労様です。複雑になっている状況なので、ポイントを知る事が必須です。よろしく。（M.S）

★ 福島県の産業として漁業の今後は大きな意味がありますが、あまり話を聞くことはないなと改めて思いました。その一方で、地域差や生活文化の違いを抱えた人たちが同じ“福島”との下でまとまる（合意形成をすすめていく）のは、時間をかけていかななくてはならないと思いますが、国、政策などは早くすすめたいとの姿勢が見える。福島県民、どうするのか？（M.K）

★ 漁業への影響・問題が、浜通りのみの課題となっているような印象があり、県民としてもっと関わりを増やさなければいけないと感じました。（Y.S）

★ 友達というか、一緒に何か社会的な活動ができる仲間をつくりたいです。そういうイミで、「もやい直し」はぜひやりたい。（T.M）

★ 1年ぶりの再開・復活、おめでとうございます。記念すべき101回目、とても聞きごたえのある内容でした。今後の福島の創造的な復興に向けて、様々な切り口に、敏感でいたいと思います。(H.S)

★ 1)101回フォーラム再開、厚くお礼申し上げます。口では言えない程、続けていくことは大変ですが、無理をされない様にして、続け頂きます様、お願い申し上げます。継続は力なり！  
2)以前より課題となっていました、①本フォーラム幹事増員と内容方向付け、②フォーラム参加者で、放射能汚染並びにフクシマ以外も含めて、毎回「真の復興」についても声を上げ、発信して頂けませんでしょうか。東北（フクシマ）の人が、東北・日本の未来について声をあげないと、このまま風化・閉塞化・過疎化の怖れ有り。(T.S)

★ 厳しい環境の中で、101回目開催おめでとうございます。一次産業、とりわけ漁業の復旧・復興のテーマ設定に興味ありました。林先生の丁寧な調査と報告が大変参考になります。相馬の魚は、仙台市場でも扱っておりますが、他産地同品質と比較して2-3割安です。消費市民と漁業者の交流と連帯が、復旧・復興のポイントだと思います。ありがとうございました。(S.S)

★ 水俣病における「もやいなおし」とは、具体的にどのような取り組みや活動をしたのかを説明した上で、福島版「もやいなおし」では、このような取り組みを追加して行うことを指しているという基礎知識からの説明がないと、初めてお話を聞く一般市民には理解が難しいのではないかと感じた。(K.F)

★ 本格操業がなかなか見通せない漁業者の皆さんにとっては、まだまだ厳しい状況にあるのだろうとあらためて思いました。下支えしながら、活気を取り戻す展望が、早く見えてくればと思います。汚染水を減らす、本格的な対策は、どこで誰がかんがえるのでしょうか？(Y.A)

~~~~~  
【予告】第103回ふくしま復興支援フォーラム 2016年12月6日(火) 18:30~20:30

「再生可能エネルギー事業の現場から

～土湯温泉(地熱&小水力)／飯舘村(太陽光)発電事業の立ち上げ～」

報告者：千葉訓道 氏(飯舘電力専務取締役)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」大活動室3

MAXふくしま4F (福島市曾根田町1-18)

~~~~~



【会場個人カンパありがとうございました】

第101回ふくしま復興支援フォーラム(10月27日)の会場で、カンパ3500円をお寄せいただき、ありがとうございます。報告とともに、御礼申し上げます。



【会計報告】

第1期 (2011. 12. 22～2015. 9. 17)

収入 (会場個人カンパ154, 488円+団体カンパ32, 000円+雑収入28, 258円) 214, 746円

支出 (会場費183, 746円+雑費24, 500円) 207, 640円

残金 (繰越金) 7, 106円



第2期 (2016. 10. 27～)

「収入」

繰越金 (第1期から) 7, 106円

会場個人カンパ (2016. 10. 27) 3, 500円

計 10, 606円

「支出」

会場費 (2016. 10. 27) 4, 700円

会場費 (2016. 11. 16) 2, 400円

会場費 (2016. 12. 6) 2, 400円

計 9, 500円

「残金 (現在高) 2016. 11. 15」 1, 106円

